



授業参観お世話になりました！ ～ 子供たちも頑張りました ～

前途洋々

17日(金)は、お忙しいところ、多くの保護者の皆様に参観いただき誠にありがとうございました。子供たちの活動の様子をご覧になるのは、運動会以来だったと思います。おうちの方に見てもらうために張り切って活動している子供たちの気持ちがとても伝わってきました。発表活動も多かったので、子供たちがどのように発信する力を身に付けているかもご覧になれたと思います。ご家庭でも、もう一度話題にしていただけるとありがたいです。



1年：音読発表会

おひさま3：一年の振り返り



4年：鼻ぐり井手の説明



保幼小中連携研修会に参加して～「幼児期の遊びを学びにつなぐ」

18日(土)に、菊陽町就学前・学校人権教育部会「2021年度 保幼小中連携研修会」に、私を含め、本校から3人の職員が参加しました。本研修会では、熊本県幼児教育アドバイザーの宮本光枝さんから、「幼児期の遊びを学びにつなぐ」というタイトルで講演をいただきました。とても参考になる内容だったので一部だけですが、ご紹介します。

小学生時期の望ましい睡眠時間は9～11時間

これまでも、子供にとっては10時前就寝が望ましいという話を聞かれたことがあると思います。成長ホルモンの分泌がよくなること、朝の目覚めがよくなり、翌日の午前中の活動がスムーズになることなどのメリットがあります。遅い時間に就寝すると、翌日の夕方からしか体が目覚めないことになってしまいます。夜遅くまで、ゲームやネットに時間を使っている場合、体のリズムが追いつかなくなってしまいます。

自己肯定感をはぐくむことが大切

自己肯定感の高い子供は、新しい世界に向かうとき、新しい環境にしなやかになじむことができる、また、段差を乗り越えていく力があるとのことでした。自己肯定感をはぐくむには、様々な人とかかわり、豊かな生活体験(手を洗う、ぬいだ靴を整える、かたづけをする、など...)を通して、いろいろな人から「ありのままの自分が愛されている、受け入れられている」という感覚をもつことが大切ということでした。確かに、幼いころの経験や感覚は、人の一生を通じた大切な「核」を形成していくのではないかと思います。



今月の「キャロッピーデー」は 菊陽町産のブロッコリーを使ったメニュー！

15日(水)は今月の「キャロッピーデー」(菊陽町でとれる食べ物を食す日)でした。献立は、「黒糖パン、トマトクリームスパゲッティ、ブロッコリーサラダ」でした。今回は、菊陽町でとれたブロッコリーをいただきました。給食のおたよりには、菊陽西小校区の、吉村重美さんのブロッコリー畑が紹介されていました。7月24日に種まき、8月20日に種まきと、収穫時期をずらすために種まきの時期を変えておられるそうです。大体3ヶ月で収穫を迎え、霜が降りる前まで収穫できるとのこと。また、一つ一つ手作業で収穫しておられます。「農業を始めて50年。いろいろ経験をしているが、努力もしていけないと安全で美味しい作物はできない」という吉村さんの言葉には学ぶものがあります。今回も、作り手の皆さんの思いが詰まった食材を美味しくいただきました。ごちそうさまでした！

